

岩手県次期総合計画 長期ビジョン (中間案)

第5章 政策推進の基本方向

2 取組方向

(4) 居住環境・コミュニティ

～不便を感じないで日常生活を送ることができ、

また、人や地域の結びつきの中で、助け合って暮らすことができる岩手～

居住環境の整備や日常生活に必要な交通手段の確保などにより、住まいの快適さや暮らしやすさを実感でき、また、多様な主体の連携や異なる文化、県内外の人的・経済的な交流などにより、暮らし続けたい、帰りたいと思える地域のつながりを実感できる岩手の実現に向けた取組を展開します。

22 地域の暮らしを支える公共交通を守ります

ア 県民が不便なく移動できるよう、広域バス路線や地域の第三セクター鉄道の安全運行の確保や施設等の老朽化対策、安定経営に向けた取組の支援により、広域的な公共交通基盤の確保を図ります。

イ 日常生活に欠かせない地域の公共交通サービスを県民が持続的に利用できるよう、地域住民の足となる路線バスや市町村におけるコミュニティバスなどの運行への支援により、地域公共交通の確保を図ります。

ウ 公共交通の確保を図るため、地域公共交通の利便性の向上、観光面での活用、情報発信の強化を図るなど、公共交通の利用を促進します。